

BIKE MOTION BENELUX2008 参観報告

標記展示会はオランダ、ベルギー及びルクセンブルグ市場のユーザー向けスポーツ自転車展として2008年10月31日(金)～11月3日(月)の4日間、オランダ・ユトレヒトの国際展示場で開催され、展示ブランド数や来場者数を昨年より伸ばす結果となった。

【BIKE MOTION BENELUX 2008】

主催： VNU Exhibitions Europe

会場： JAARBEURS UTRECHT 展示場

会期： 2008年10月31日(金)～11月3日(月)

ユーザーデー；31日(金)～2日(日)、ビジネスデー；3日(月)

開催時間： 31日14:00～21:00、1・2・3日10:00～17:00

使用ホール： ホール10・11・12、26,000㎡(昨年、ホール1・2 22,000㎡)

入場者数： 24,762人(昨年18,348人)

出展者数： 151社502ブランド(昨年150社400ブランド)



入場券売場



Hall.10 会場入口

展示会概要

昨年より主催者が代わり、今年は開催時期を例年より10日程遅らせ展示ホールも移動しての新たなる出発となった。昨年はDIY用品展示会が同時開催されていたが、今年は乳幼児向け用品の展示会が同時開催となり、朝から入場券売場にベビーカーを押した親子連れが列をなしていた。母親は幼児用品展、父親は自転車展を目当てに両展示会場を往来する家族連れも多く見られ、この開催時期の変更は思わぬ相乗効果も上げた。

昨年のホール1、2と違い今年のホール10、11及び12は直線的に連なり、展示面積も昨年より18%広くなり、大きく一つにまとまったレイアウトであった。メイン入口も駐車場側に近く自動車による来場者の利便性を高めていた。同展来場者は前年比35%増の24,762人となり、出展社数こそ昨年同様であったが取扱いブランド数は同比25%増の約500ブランドに達し、欧米の主だったスポーツ車、部品及びアクセサリー類が揃い内容は昨年より充実していた。

ユーザー向けのスポーツ車中心の展示会として、各出展社はロードレーサー、MTB のカーボン車のトップモデルから上級車種まで揃えていた。地元のコガミヤタ、ユニオン、PRO RACE や JAN JANSSEEN。その他、欧州ではビアンキ、ピナレロ、デ・ローザ、チネリのイタリア勢、他ではスコット、LOOK、サーベロ、オルベア、bmc、CUBE、BULLS、STEVENS、KTM、FOCUS など、米国ブランドはスペシャライズド、トレック、キャンノンデール、ロッキーマウンテン、GT が昨年同様、勢ぞろいしていた。

台湾ブランドでは、今回も最大のブースを構えるメリダ・センチュリオンをはじめダホン、ジャイアントが出展していた。特にジャイアントは小間を広げスポーツ車の展示を増やした。同社はベネルクス市場において、ドイツやオランダの購買協同組合を経由する従来の販売方法を止め、同社取扱店に直接流通させる意向であることを発表したばかりであり、同社の新たな試みの成否に注目が集まっている。



キャンノンデール



ジャイアント



ピナレロ



コガミヤタ

スポーツ車のうちクロスバイクについては、ロードレーサーにより近い車種が多く見受けられ、配色は黒、紺、銀、白などの落ち着いたもので華やかなデザインは少ない。また、通勤などの移動手段として自転車利用が多く、また車種別販売シェアでシティ車が最多を占めるオランダでは同車種の人気は根強く、伝統的なダッチバイクは今回少なかったが、最近主流

の太いアルミのダウンチューブを備えたU形、ループ形のシティ車や、欧州最大の販売台数を誇る電動アシスト自転車も揃っていた。ベネルクス地域は販売台数では大きな市場とはいえないが、特に電動アシスト自転車については流行発信の場としてこれからも注目が必要である。

地元有力ブランドの不参加

オランダ第2位のシェアを有するバタバスは昨年に続きスポーツ車を出展したが、現在国内最多シェアを占めるガゼレは今年出展しなかった。同社はシティ、トレッキング車及び電動アシスト車の生産を増やし、特に同社2009年モデルの電動アシスト車「Innergy」シリーズの販売に力を入れる方針であると、先日、欧州自転車業界紙上で報じられたところであり、スポーツ車主体の同展参加は見送ったとみられる。

また、同じく電動アシスト自転車の有力メーカーであるスパルタも今年は出展していなかった。アクセルグループ内ではバタバスとコガミヤタが同展にスポーツ車を出展しており、電動アシスト車を主とするスパルタの参加は見送られた形となった。このように、地元開催の展示会であっても有力メーカーが不参加になるなど、昨今の金融危機を発端とする世界的な景気後退の流れも受け、今後は展示会の内容と各社の販売戦略や得意分野に合致した展示会が選別される傾向が強まる可能性もある。



ユニオン（オランダ第3位シェア）



バタバス

展示会の競合、来年の予定

今年10月17～20日にベルギーのブリュッセルにて開催予定であった「Expo-Velo」が、今年は急遽中止となったため、「BikeMOTION2008」がその出展社の受け皿となり、それが来場者数を伸ばした一因ともなっている。そのブリュッセルの展示会は、昨年2007年は出展110社、来場者14,500名を数えていた。今年はドイツのIFMAが終焉し、イタリアではミラノ展に対抗しパドバで新たな自転車展が開始されるなど、欧州各国で展示会同士の競合が始まり、展示会自体も生き残りをかける時代に突入しつつある。

来年、同展は2009年10月30日～11月2日の4日間の開催予定である。本年同様のユトレヒトの国際展示場ホール10、11及び12の合計3ホールに加え、更に1ホール増やして出展募集を行う計画もあり、主催者側は来年度も更なる発展を期待している。



Jan Janssen



メリダ



ピアンキ



BULLS

各社のベネルクス市場向けのクロスバイク

以上

(デュッセルドルフ事務所)